



令和7年5月1日現在
人口 14,349 人
男性 6,968 人
女性 7,381 人
世帯数 7,040 戸

新任校長先生・教頭先生に お聞きしました！

新年度がスタートした4月、本郷地区に関わる方々にも新しい顔ぶれが加まりました。今回は、本郷地区の子どもたちが通う2校に着任された二人の先生へインタビューを実施。新たな学校での意気込みや子どもたちへの思いについてお聞きしました。

清水小学校校長

渡辺 玲子先生



子どもの頃は算数の他、スポーツや外遊びが好きで活発だったという渡辺校長先生

Q好きな先生はいましたか

中学校の担任。型破りな先生でしたが、愛情深く子ども達のために信念を持って行動してくれました。その姿に影響を受けて教員になりました。

Q清水小学校の印象は

着任式で校歌を聞いたその歌声が、明るく澄んでいて感動しました。また、校内にあるせせらぎで子どもたちが飛んだり跳ねたりしていることが、成長にとっても良いことだと思います。夏にはホタルが飛び交うそう楽しみです。



ホタルが舞う清水小学校内の池

Q児童にはどんな学校生活を
送ってほしいですか

学校目標は、「お互いを認めあい笑顔あふれる学校」です。子ども達には、自分の事を認め、自分自身を好きになり、友達とも認めあえる関係性を育んでほしいと願っています。

Q保護者や地域の方に一言

学校・親・地域の三者で一緒に子どもを支え、後押しし、応援してほしいです。

女鳥羽中学校教頭

佐藤 正志先生



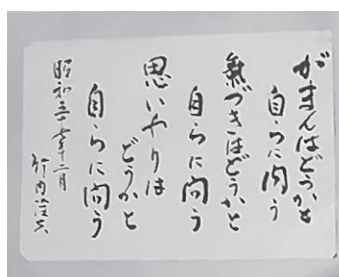
香川県出身、信州大学卒。現在は単身赴任で自宅のある長野市と松本市を行き来している佐藤教頭先生

Q教頭の仕事はいかがですか

昨年度までは生徒と関わる機会が多かったのですが、授業をしなくなり、対外的な仕事も行うようになりました。生徒との触れ合いが減ってしまい、少し寂しく思っています。

Q女鳥羽中学校の印象は

素直な生徒が多い印象です。学校の特色といえば「自問清掃」でしょうか。清掃活動を通して、人としての考え方や行動の仕方を自分自身に問いかけ、気づき、考え、行動することによって鍛え、人としての成長を目指す時間としています。黙々と清掃に取り組み姿が印象的です。



女鳥羽中学校で掲げられている「自問」の額

Q教頭としての目標は

第一に生徒一人ひとりの個性を尊重することです。また、校長・教職員と協力して生徒が楽しく学校生活・学習が送れる環境を整えることで務めを果たしたいと考えています。

お二方の誠実で優しい人柄と、子どもや学校に対する熱い思いを伺えるインタビューになりました！

ありがとうございました！

○渡辺校長先生取材担当

浅間第1町会Y、第3町会A

○佐藤教頭先生取材担当

洞町会A、南浅間町会N

館報編集委員長に 就任しました



宮澤 一三
(横田第5町会)

一年間よろしくお願いします。

令和7年度浅間温泉行事

(協力：浅間温泉観光協会)

浅間温泉ホタル祭り

ツール・ド・美ヶ原高原
自転車レース大会

浅間温泉夏祭り

浅間温泉温泉フェスタ

浅間温泉松明祭り

浅間温泉新そばまつり

だるま市(初庚申)

浅間温泉麵武将&
らめん祭り

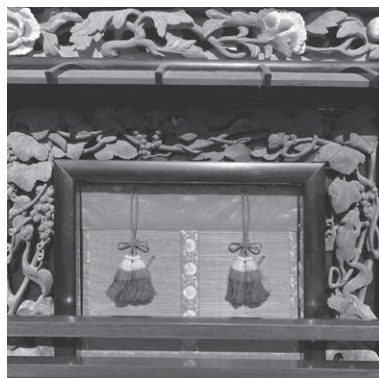
※天候などにより予定が変更、中止となる場合がございます。あらかじめ直近のイベント広報をご確認ください。

わがまちのお宝

大村の歴史あるお舟を紹介させていただきます。

お舟と言えば里山辺のお舟祭りを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？

その里山辺の湯の原から安



絢爛・勇壮な大村のお舟 (写真上)
立川和四郎の手によると伝わる彫刻 (写真下)

政2年(1855年)に購入したものが大村のお舟です。製作は神社仏閣の彫刻で名を馳せた高島(諏訪)の立川和四郎であったとされています。平成17年(2010年)に、歴史的価値のあるお舟を後

世に継承するため、基本的な原形を留めるかたちで修復を行いました。彫刻部分に関しては殆どが当時のまま残されており、今にも動き出しそうな生き物や繊細な植物など、200年程前に製作されたものとは思えない、見る者を魅了する美しさです。

残念ながら当館報が発行される頃には今年のお披露目は終わっていますが、毎年5月3日の例大祭にお舟曳きを行います。ご興味のある方がいらつしやいましたら、ぜひ例大祭に足をお運びください。

(大村中町会 T)

フリーコラム 古今東西

浅間さんぽ

浅間の湯は、日本書紀によると天武天皇の時代に「白糸の湯」「束間の湯」と呼ばれています。江戸時代には松本城主の御殿湯として使われており、明治末期から昭和初期には正岡子規、伊藤左千夫、与謝野晶子ら数々の文人に愛されました。名湯の地として、浅間温泉には1300年続く「湯の癒し」があります。

さて、そんな浅間温泉には温泉だけでなく様々な史跡が点在しています。御射神社、

神宮寺、不動の滝等々……。

何ヶ所もある史跡を巡りながら、日帰り温泉で一汗流し、半世紀続く飲食店でお腹を満たし、癒しのカフェでユルリと過ごす1日はいかがでしょうか？

散策にあたっては浅間温泉文化センター内にある浅間温泉観光協会で様々なパンフレットがいただけます。

(浅間第5町会 T)



観光案内所も兼ねる浅間温泉観光協会(写真右)では、観光協会発行のものを始め様々な観光パンフレットが揃う(写真左)

新・みんなのバス出発!

4月1日(火)の朝7時原橋にほど近いバス停から新しいワゴン車が出発進行の合図と共に走りだしました。



雪の中出発した第1便

が、華々しく出発式が行われ、3人の乗客を乗せて出発しました。

みんなのバスは、バス路線がなく不便であった地域の足として沿線町会などで組織する「本郷地区みんなのバス協議会」が2018年より運行を開始したコミュニティバスです。以来、高齢化の進む社会情勢の中でマイカーに替わる手段として活躍しています。

これまでの運行は、タクシー会社に委託していましたが、昨今の燃料価格高騰などにより費用負担が増加。新たな運行方法を模索する中でこの4

みんなのバス路線図



運賃など詳細は、
松本市のホームページで
確認できる



月より、「交通空白地有償運送事業」を活用することとなりました。地域の協議会が事業運営の他、バスの運転手も住民が担う形での再出発です。こうした形態での運行は、県内でも初めてということです。

(本郷公民館主事)

発式で「今後こうした運行方式が社会に必要とされる。地域は自分たちで守るという信念でおこなう」と話されました。

9人乗りの小さなバスは、地域社会の未来と住民の期待を乗せて今日も走っています。

